

令和4年度

土成中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標 学力向上検討委員会構成

- 大志の実現に向けて自ら学ぶ生徒の育成
- 家庭における学習習慣の確立による学力の定着

学力向上推進員
河野 実輝

委員 校長:瀧川靖治 教頭:十川道雄 教務主任:小崎朱代
 1年主任:桑村裕佳 2年主任:森脇博文 3年主任:鈴木真二
 人権教育主事, 生徒指導主事, 道徳教育推進教師,
 研修主任, 保健主事, 特別支援教育コーディネーター
 学力向上学年担当:河野実輝(1年), 牧本浩子(2年), 坂東大輔(3年)

校長

瀧川 靖治 印

○次の(1)~(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や試験結果の分析による到達度の見極め等から取り組み状況を把握する

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字や英単語の読み書き, 計算などの基礎的な課題に対して, 意欲的に取り組み, ある程度の定着が見られる。 ●学力に二極化が見られる。苦手意識が強い生徒ほど学習意欲が低く, 家庭学習が充実しないことが課題と考える。	・読書習慣が身についている。 ・言語に対する関心, 理解を深め, 基礎的な知識や技能を身につけることができる。 ・家庭学習に着実に取り組むことができる。	・学級文庫の充実, 朝の読書の時間の確保, 図書館利用の推奨により, 読書活動を促す。 ・確認のための小テストを計画的, 継続的に実施する。 ・生活記録の指導を通して, 言語能力の向上を図る。	・勉強が苦手な生徒へのサポートとして, 授業毎の目標の提示や, 予定黒板の活用を行う。 ・実用英語技能検定や漢字検定等の受検を促す。	・基礎・基本的な学習内容には, 意欲的に取り組める生徒が多く, 学びに対する意欲が見られた。 ・学級文庫の活用や, 図書館の開館により, 読書活動を促すことができた。 ・実用英語技能検定の受検率は約37%, 漢字検定は約25%だった。	図書館の開館や学級文庫の設置などを継続して行い, 読書の習慣化につながる呼びかけを続ける。 実用英語技能検定や漢字検定の受検を促し, 学習意欲の向上に努める。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えや思いを相手に伝えようとする意欲がある。 ●相手の表現を理解して, 自分の考えや思いを, 筋道を立てて表現することに課題がある。	・目的に応じて, 根拠や理由を明らかにしながら, 自分の考えを相手に分かりやすく表現することができる。 ・相手の表現によく耳を傾け, 理解してから表現内容を工夫することができる。	・学習活動の中で自分の考えを筋道を立てて説明したり, 文章に書くことで表現したりする機会を意図的に設ける。 ・学び合い活動を取り入れた授業を実施する。	・新型コロナウイルスの感染拡大により, ペア学習やグループ活動の実施を積極的に行うことは難しいが, タブレットなどを活用して自己表現の機会を確保する。	・授業に意見交換の場を設け, 学びを深めることができた。 ・社会や理科の授業では, 生徒の意見の共有にタブレットを利用し, 学び合いの機会を設けた。	授業でタブレットを積極的に活用し, 自己表現が苦手な生徒を支援するとともに, 生徒の意見交換の場や学び合いの機会を確保することで, 思考力や表現力の高め合いを図る。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○全体的に落ち着いて学習に取り組むことができる。しなければいけないことに取り組める生徒が多い。 ●難しいことや苦手なことでも最後まであきらめない気持ちや, 疑問に思ったことを追求しようとする意欲が乏しい。	・自らの課題に自ら気づき, 目標を持って主体的に取り組むことができる。	・学習課題等を工夫し, 最後まで努力する意欲や探究心を育成する。 ・自主勉強への取り組みについて粘り強く指導し, 家庭学習の習慣化を図る。	・継続して家庭学習を行うことの重要性を説く意味指導と同時に, 「自主勉強ノート」の活用の仕方を指導し, 家庭学習の充実を図る。	・年度始めに自主勉強について説明し, 学習意欲の向上につなげたが, 家庭学習の習慣化については52%と低かった。 ・自分の課題を見つけ取り組むことができる生徒が少ない。	家庭学習の意義指導なども含め学習習慣の定着を図る。 自分の課題を見つけ, その解決に向けて調べたり, 学び合ったりしながら主体的に取り組めるような指導を工夫する。

令和4年度 学力向上ロードマップ



